

〈避難口／通路誘導灯（両用型）（電池内蔵型）〉
 〈壁直付型（防湿・防雨型 HACCP兼用）〉

品番	タイプ
FW (H) 11337	C級壁直付型
FW (H) 21337	B級BL形壁直付型
FW (H) 42337	B級BH形壁直付型

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。※上記（ ）内は加工品番です。（以降、加工品番の記載を省略します。）

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 器具に衝撃を与えたり、改造したりしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 壁直付専用。指定以外の取付はしない。落下・感電・火災の原因となります。
- 表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数の電源で使用する。使用電源に不備があると、感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解などしない。また、火や水に投入しない。感電・火災・破裂・やけどの原因となります。
- 蓄電池は確実に取付ける。非常時に点灯しません。

注意

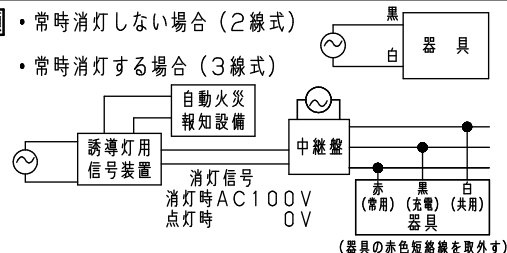
- 軒下など雨線内で使用できます。ただし、風の強い場所、常時高温・高湿度になる場所、腐食性ガスが発生する場所、振動の強い場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。
- 直射日光の当たる場所には設置しないでください。過熱による故障・短寿命の原因となります。
- 周囲温度は、5～35℃で使用してください。範囲外の温度にて使用した場合、火災の原因となります。
- 電源線の引き込み部分は、適宜、防水シール材などで埋めてください。防水が不完全な場合、感電・火災の原因となります。
- 取付面の凹凸が大きい場合、電源線の引き込み部分、及びパッキンとの隙間を防水シール材などで埋めてください。防水が不完全な場合、浸水による落下・感電・火災の原因となります。

施工上のご注意

- この器具の電源は誘導灯専用回路にしてください。
- この器具は常時連続点灯し使用してください。常時消灯して使用される場合は、事前に所轄消防署の了解を得てください。また、自動火災報知設備との連動が必要なため、誘導灯用信号装置などを用いて消灯してください。
- 電源を通电せずに、蓄電池を接続したまま放置しないでください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- 間接照射殺菌灯と併用する場合は、8m以上離して設置してください。樹脂製カバー劣化の原因となります。

配線種類 ・常時消灯しない場合（2線式）

・常時消灯する場合（3線式）



（器具の赤色短絡線を取外す）

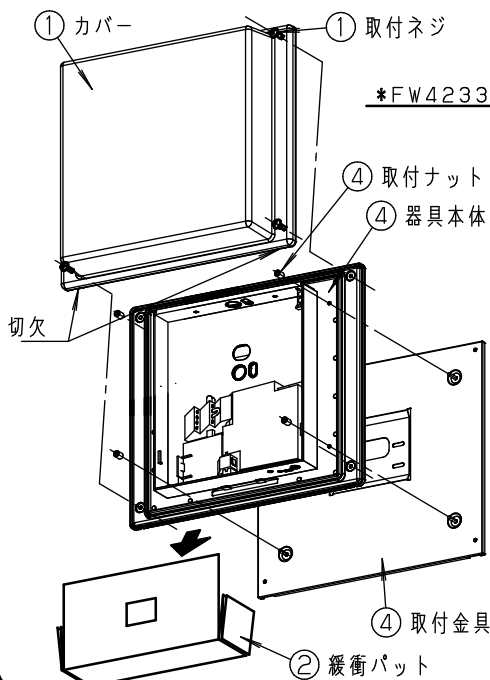
※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

各部のなまえと取付けかた

器具の取付・取外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

適合表示板（品番）	
FW11337	FW21337, FW42337
FK10000, FK10005 FK10016, FK10017, FK10018	FK20000, FK20005, FK20006, FK20007, FK20008 FK20016, FK20017, FK20018

*FW42337の例で説明しています。



1. 取付前の確認

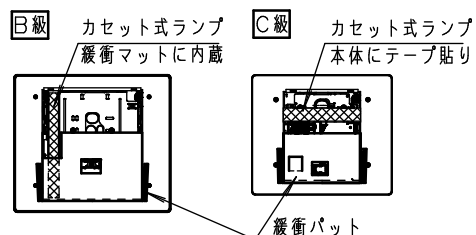
- ・器具質量（4.0kg：FW42337の場合）に十分耐えるよう、取付面の強度を確保する。不備があると器具落下の原因となります。

2. 壁面に穴をあける

- ・壁面にφ30の穴をあけ、電源線、アース線を引き込む。
 適合電線：VVVFケーブル 3芯 φ1.6、φ2.0
 ：アース線 φ1.6、φ2.0

3. 取付準備 ※注意事項は【5. 器具本体の取付】を参照

- ① カバーを取り外す。
 プラスドライバーで取付ネジを緩める。（4ヶ所）
- ② 緩衝パットを取り外す。
 （注）C級は蓄電池の下に敷いてある緩衝パットも外す。
- ③ カセット式ランプを外す。
 C級：テープを外して取り出す。
 B級：緩衝マットから取り出す。
- ④ 取付ナット（4ヶ所）を外し、器具本体を取付金具から外す。
 （注）器具本体内部のネジは取り外し不可。



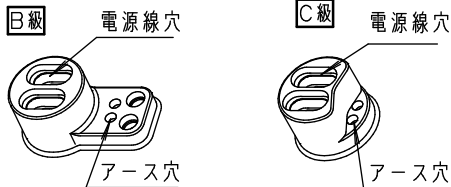
各部のなまえと取付けかた（続き）

4. 取付金具の取付

- ① 取付金具の電源穴から電源線、アース線を引き込む。
- ② 電源穴部が上側になるように、取付金具を木ネジ、又はビスで確実に取付ける。

5. 器具本体の取付

- ① 器具本体の裏面から電源線、アース線を引き込む。



※下記の場合、器具本体を取付金具に取付後に器具本体内部より下図の箇所を防水シール材などで埋めること。

防水が不完全な場合、浸水による感電・火災の原因となります。

- ・適合電線以外の電線を使用する場合
- ・電線の抜き差しなどを行い、挿し込み部のゴムが裂けた場合
- ・取付面の凹凸が大きき場合

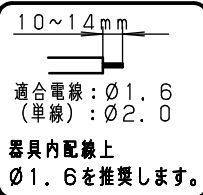


- ② 器具本体を取付金具のネジに取り付け、取付ナットで固定する。（4ヶ所）

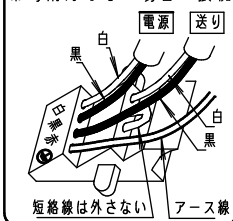
6. 電源線、アース線の接続

- ① 電源線、アース線を確実に接続する。
- ② D種（第3種）接地工事が必要。
- ③ 電源端子台の容量は20Aです。

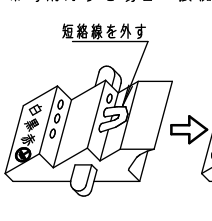
接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。



常時消灯しない場合の接続

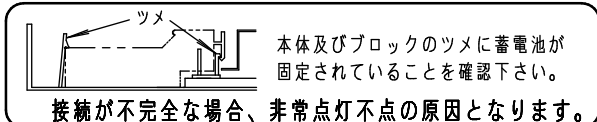
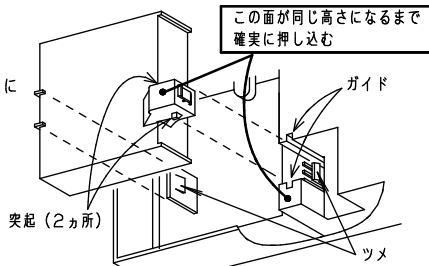


常時消灯する場合の接続



7. 蓄電池の接続

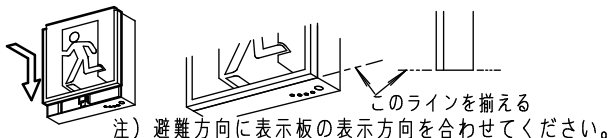
蓄電池の突起をブロックのガイドに差込み
上図で指示した面が同じ高さになるまで確実に押し込む



接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

8. 表示板の取付

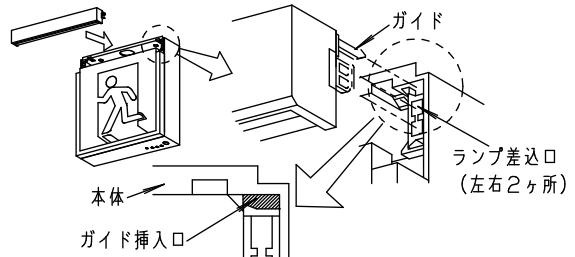
- ① 表示板のツメが本体のツメ（4ヶ所）の上側にくるように合わせる。
- ② 表示板を下側にスライドさせて、本体の下と揃える。



取付に不備があると表示板落下の原因となります。

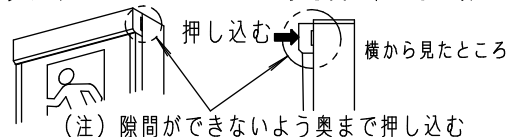
9. カセット式ランプの取付

- ① カセット式ランプを本体のランプ差込口（左右2ヶ所）にはめ込む



- （注1）カセット式ランプ端子部を直接持たないこと
- （注2）ガイドをガイド挿入口（上図ハッチ部）に入れながらカセット式ランプをはめ込む

- ② カセット式ランプをカチッと音がする奥の位置まで押し込む

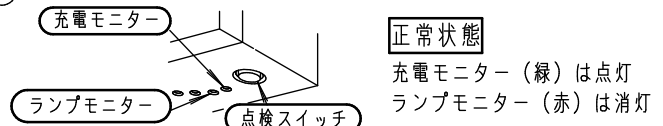


取付に不備があるとカセット式ランプの落下の原因となります。

10. 点灯確認

※カバー取付前に行ってください。

- ① 電源通電状態でランプおよび各モニターランプの状態を確認する。



- ② 電源通電状態で点検スイッチを押して非常点灯を確認する。（点検中、充電モニター（緑）は消灯）

正常に動作しない場合は「故障かな？と思ったときは」を参照してください。

11. カバーの取付

- ① カバーを取付ける。

（注）水抜き用の切欠を下側にする。

- ② プラスドライバで取付ネジを締め付ける。（4ヶ所）

（注）パッキンのリブをカバーで挟まない様に取付けてください。

取付に不備があるとカバー落下や防水不良の原因となります。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがした場合、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼する。
異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。
- 蓄電池を短絡・分解などしない。また、火や水に投入しない。感電・火災・破裂・やけどの原因となります。
- 蓄電池は確実に取付ける。非常時に点灯しません。

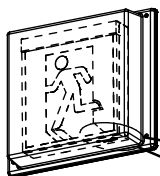
注意

- 密閉構造を有しているため、周囲の環境状況の変化によりカバー内面に若干の水滴（結露）が発生する場合があります。
器具品質的には問題ありませんが水滴が発生したら、カバーを外して水滴を拭き取ってください。
- 照明器具には寿命があります。（※1）
法令に基づいて定期的に点検を実施してください。
点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。
- 「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。（チェックシート番号：CLX2021HA）

※1 照明器具は、使用条件、使用環境で異なりますが、8～10年が取り替え時期の目安です。但し、蓄電池は、4～6年です。

使用上のご注意

- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 長時間器具を使用しないときは、蓄電池を外してください。蓄電池の劣化や短寿命の原因となります。
- ランプ交換後はリセットスイッチを2秒以上長押ししてください。ランプ寿命誤診断の原因となります。



自己点検用リモコン受光部

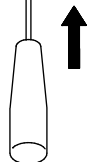
モニターのはたらき

充電モニター（緑）

蓄電池の充電がなされているか確認できます。		緑色点灯	正常です
		点灯しない	蓄電池が充電されていません。 非常点灯になっていないか、または、蓄電池コネクタが外れていないかを確認してください。
		緑色点減	蓄電池の交換時期の目安です。 蓄電池の容量低下を緑点減でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した場合		1秒間点減（4回）	点検可能 （24時間以上充電されている）

自己点検スイッチ

- ※カバー取付時には操作できません。
カバーを外して操作してください。
- 蓄電池容量の点検が行なえます。
判定には最大20分かかります。
 - 先の細い（φ3以下）物で2秒以上押すと点検を開始します。
（充電モニターが消灯します。
検査終了後は自動的に復帰します。）
 - 自己点検スイッチの動作には、24時間以上充電が必要となります。
（24時間以内に、3秒以上の非常点灯があった場合は動作しません。）



ランプモニター（赤）

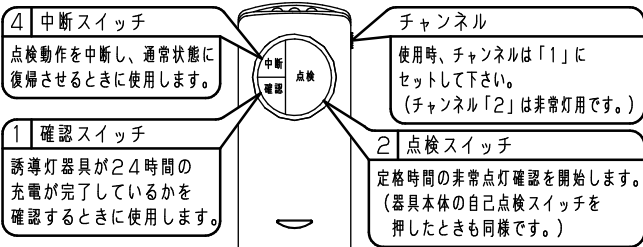
ランプの交換時期や異常などをお知らせするものです。		点灯しない	正常です
		赤色点灯	ランプまたはランプの接続に異常が発生しています。
		赤色点減	ランプユニット交換時期の目安です。 ランプの点灯時間をカウントし、60000時間後に赤色点減でお知らせします。
リモコンの確認スイッチを押した場合		1秒間点減（4回）	点検不可 （充電時間不足）

（注）ランプモニターが点減しなくてもランプの明るさ低下または変色等の場合ランプを交換してください。

自己点検用リモコンについて

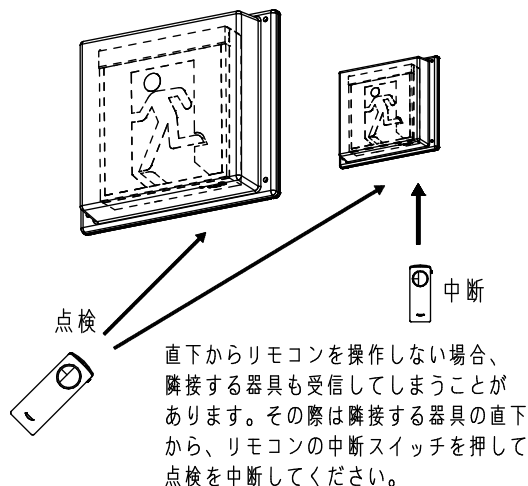
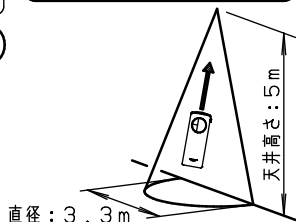
適合理モコン品番：FSK90910K（別売）

スイッチ各部の名称と働き



リモコン操作エリアについて

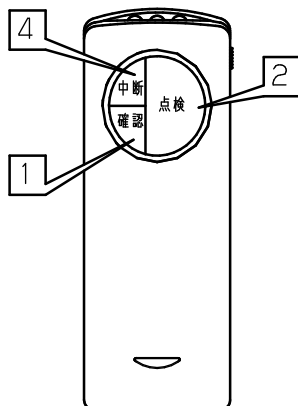
リモコンを操作するときは点検する誘導灯器具の真下からリモコンを誘導灯器具に向けて送信してください。



※中断した場合は、再度24時間充電が必要です。

使用上のご注意（続き）

リモコンによる点検方法



- チャンネルを「1」にセットして下さい。（チャンネル「2」は非常灯用です。）
- 充電モニター（緑）が点灯、ランプモニター（赤）が消灯していることを確認して下さい。

1 リモコンの確認スイッチを押して下さい。

【器具本体のモニターを確認してください】

- ・充電モニター（緑）が1秒間点滅（4回）
⇒ 点検準備が出来ています。②に進んで下さい。
- ・ランプモニター（赤）が1秒間点滅（4回）
⇒ 点検準備が出来ていません。24時間以上充電して下さい。

2 リモコンの点検スイッチを押して下さい。

【器具本体のモニターを確認してください】

- ・充電モニター（緑）が消灯（非常点灯に切り換ります。） ⇒ ③に進んで下さい。

3 蓄電池容量の点検が行えます。 判定には最大20分かかります。

【器具本体のモニターを確認してください】

- ・充電モニター（緑）が点灯 ⇒ 正常です。
- ・充電モニター（緑）が点滅 ⇒ 蓄電池の交換時期です。

4 途中で点検を中断する場合、リモコンの中断スイッチを押して下さい。

【器具本体のモニターを確認してください】

- ・充電モニター（緑）が点灯（通常状態に戻ります。）

リモコンスイッチと器具状態の対応表

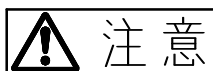
	器具の状態		
	充電中 (充電時間24時間未満)	充電完了状態 (充電時間24時間以上)	点検中
点検スイッチ	充電モニター（緑）が 約0.5秒消灯し点灯 に戻ります	点検開始 (充電モニター（緑） 点灯⇒消灯)	充電モニター（緑） 消灯したまま
中断スイッチ	充電モニター（緑） 点灯したまま	充電モニター（緑） 点灯したまま	点検中断 (充電モニター（緑） 消灯⇒点灯)
確認スイッチ	ランプモニター（赤） 1秒間点滅（4回）	充電モニター（緑） 1秒間点滅（4回）	充電モニター（緑） 消灯したまま

— の場合は充電・ランプモニターの状態に変化はありません。

保証について

- ・保証について・・・・・・この商品の保証期間は1年です。 ランプ・電池等消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について・・・・・・保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品の保有期間・・・・・・弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、6年保有しています
補修用性能部品は、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れ・部品交換



注意

蓄電池・ランプ交換時は、器具に取付けられている蓄電池・ランプと同じパナソニック製の蓄電池・ランプにお取り替えください。故障・ランプ破損の原因となります。

- ・器具の清掃について・・・・・・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色、変質、強度低下による破損の原因となります。
- ・表示板の交換について・・・・・・長期使用により、表示効果が低下（変色・退色）した場合は表示板を交換してください。

交換部品

	品番	カセット式ランプ	蓄電池
一般型 (20分定格)	FW11337 [C級]	FK91110 (C級用LEDランプユニット)	FK721 (2.4V700mAh)
	FW21337 [B級BL形]	FK91220 (B級用LEDランプユニット)	
	FW42337 [B級BH形]		

お手入れ・部品交換（続き）

ランプの交換方法

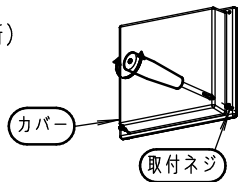
ランプモニターが赤色点滅するとランプの交換時期です。（通電60000時間後）

（注）ランプモニターが点滅しなくても、ランプの明るさ低下または変色等の場合、ランプを交換してください。

1 カバーを外す。

プラスドライバーで取付ネジを緩める（4ヶ所）

（注）ランプ交換は電源通電状態で行ってください。



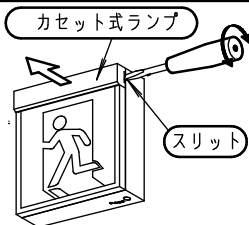
2 カセット式ランプを外す。

（ランプモニター（赤）点灯）

カセット式ランプを工具（マイナスドライバー等）で片方ずつ外す

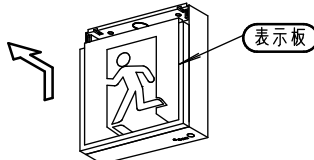
スリットに工具を押し当ててひねりながら外す
（注1）必ず左右とも工具にて外してください。
無理に引き抜くと破損の恐れがあります。

（注2）工具は強く押し当てないでください。
ランプの破損の恐れがあります。



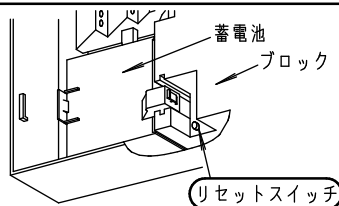
3 表示板を外す。

表示板を上側にスライドさせて取り外す



4 リセットスイッチを2秒以上押す。

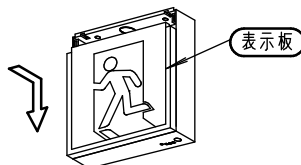
リセットスイッチを押すことで
ランプ点灯時間のカウントが
リセットされます。



5 表示板を取付ける。

表示板を下側にスライドさせて取付ける。
「各部のなまえと取付けかた」の
「8. 表示板の取付」参照

取付に不備があると表示板落下の
原因となります。



6 新しいカセット式ランプを取付ける。

「各部のなまえと取付けかた」の

「9. カセット式ランプの取付」参照



7 点検スイッチを押す。

（ランプモニター（赤）消灯）

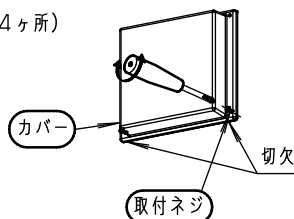
（注）点検スイッチを押さないと点灯しません。

8 カバーを取付ける。

プラスドライバーで取付ネジを締付ける（4ヶ所）

（注）切欠を下側にする。

取付に不備があるとカバー落下や
防水不良の原因となります。



蓄電池の交換方法

24時間以上充電しても定格時間非常点灯しない場合は蓄電池を交換してください。

1 カバーを外す。

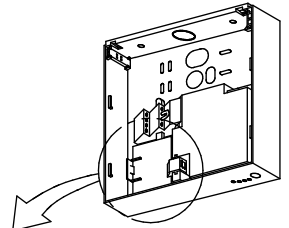
2 カセット式ランプを外す。（ランプモニター（赤）点灯）

3 表示板を外す。

4 蓄電池を外す。

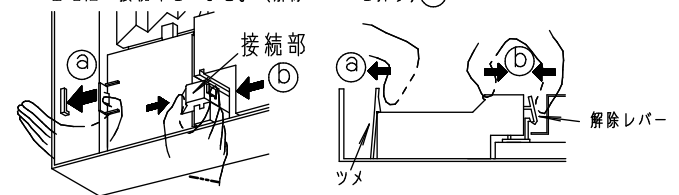
（充電モニター（緑）消灯）

FW42337の例で
説明しています。

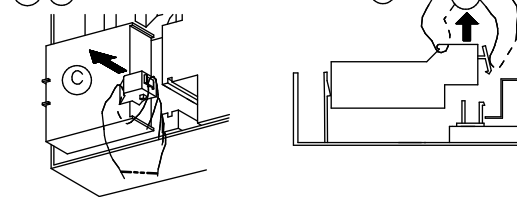


① 蓄電池固定用のツメを左へ押す。②

蓄電池の接続部をつまむ。（解除レバーを押す）③



② ① の状態のまま、蓄電池を引き抜く。③



5 新しい蓄電池を接続する。（充電モニター（緑）点灯）

接続が不完全な場合、非常点灯不点の原因となります。

「各部のなまえと取付けかた」の「7. 蓄電池の接続」参照

6 表示板を取付ける。

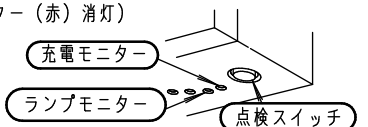
7 カセット式ランプを取付ける。

8 非常点灯確認（ランプモニター（赤）消灯）

電源通電状態で点検スイッチを押す

非常点灯を確認する。

操作中、充電モニター（緑）は消灯



9 カバーを取付ける。

表示板の交換方法

1 カバーを外す。

2 カセット式ランプを外す。

（ランプモニター（赤）点灯）

3 表示板を外す。

4 新しい表示板を取付ける。

5 カセット式ランプを取付ける。

6 点検スイッチを押す。

（ランプモニター（赤）消灯）

（注）点検スイッチを押さないと点灯しません。

7 カバーを取付ける。

器具定格・接続図

消費電力	20分定格		
	C級	B級BL形	B級BH形
	2.0W	2.6W	3.5W

接続図についてはブロックの銘板、定格の詳細については器具の銘板を参照ください。

(共通仕様)

電源電圧: AC100V

周波数: 50/60Hz

その他: 通電60000時間後に
ランプモニター点滅

- ◆定期点検 3ヵ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヵ月に1回は、外観点検と機能点検を併せて行ってください。
(点検については、誘導灯は消防法令、非常用照明器具は建築基準法令に定められていますので必ず実施ください。)

◆設置年月日 年 月 日 ◆取付場所 ◆器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな?と思ったときは

・表にしたがって調べていただき、それでも異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現象	考えられる原因	処置
ランプが点灯しない	出力停止モードになっている。	点検スイッチを押す。
	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
	信号装置の手動スイッチが消灯側になっている。	点灯側にする。
自己点検スイッチが動作しない	2秒以上押していない。	2秒以上押す。
	24時間以上充電していない。	
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。	24時間以上充電する。
	24時間以内に蓄電池をはずした。	
リモコンの点検スイッチが動作しない	24時間以上充電していない。	
	24時間以内に3秒以上の非常点灯、停電があった。	24時間以上充電する。
	24時間以内に蓄電池をはずした。	
表示面が暗い	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
	カバーの内側がくもっている。	カバーを外して内面を拭き取る。
充電モニターが点灯しない	蓄電池が外れている。	蓄電池コネクタを確実に接続する。
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている。	点検スイッチの引っ掛かりを直す。
ランプモニターが点滅している	ランプの寿命である。	ランプを交換し、交換時にリセットスイッチを2秒以上押す。
	ランプ交換時、リセットスイッチを2秒以上押していない。	カバー、ランプ、表示板を一度取外し、リセットスイッチを2秒以上押す。
ランプモニターが点灯している	カセット式ランプが外れている。	カセット式ランプを確実に接続して点検スイッチを押す。
	ランプが破損している。	ランプを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す。
非常点灯しない 短時間しか点灯しない (一般型: 20分未満)	蓄電池が外れている。	蓄電池を確実に接続する。
	蓄電池の充電不足である。	24時間以上充電する。
	蓄電池の寿命である。	蓄電池を交換する。
定格時間の非常点灯の後突然消灯する (一般型: 20分以上)	蓄電池の早期劣化を防止するため、特定電圧まで下がると消灯します。 正常な動作です。	



Ni-MH

この器具は、"ニッケル水素電池"を使用しております。ご使用済みの"ニッケル水素電池"は貴重な資源です。再利しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または"一般社団法人JBRC"に依頼してリサイクルしてください。

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>
0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月~土/9:00~18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。
0120-872-460 (FAX) Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

N0810-080322